

第73回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

第31回
熊本県作文
コンテスト

“社会を明るくする運動”作文コンテストは、次代を担う小・中学生に日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪や非行などについて考えたこと、感じたことを作文にすることを通じて、同運動への理解を深めてもらうことを目的としています。今回、本市から推薦した6作品のうち、「熊本県更生保護女性連盟会長賞」を受賞した、荒尾三中・西山 芽衣さんの作品をご紹介します。

☎ 荒尾市少年指導センター(第73回“社会を明るくする運動”荒尾市推進委員会事務局) ☎66-1373

「死刑になりたかった。」
罪を犯した人が、このようなことを言っているのをニュースで耳にしたことがある。この言葉を聞くと、罪を犯した人を、ここまで追い詰めた原因は一体何だろうと考えさせられてしまう。

犯罪の原因は様々だと思うが、多くは罪を犯した人の孤独から始まっているのではないかと私は考える。「自分の行動に注目してほしい」、「自分の存在を認めてほしい」という欲求が、犯罪を強く後押しし

「あいつの力」
荒尾三中3年 西山 芽衣

熊本県更生保護女性連盟
会長賞



ているのではないだろうか。しかし、どんな理由があっても、罪を犯してよいわけではないし、絶対に許されるものではない。

私は、一人でも多くの人の孤独を解消する方法を見つけ、それを実践していけば、犯罪を減らしていくことにつながると思う。

私の学校では、生徒会の生活委員会であいつつ運動を行っている。私も生活副委員長として参加している。朝から学校の正門に立ち、生徒、先生方、地域の方々にあいつつをする取り組みである。私

は、この取り組みは小さいことかもしれないが、孤独を解消することにつながると思う。実際、万引きをしようとしていた少年が、店員からあいつつをされた時は、犯行に及ばなかったというニュースを見たことがある。自分

の存在を見てくれていると感じられるだけでも、孤独感は薄れ、犯罪

もっと社会は明るくなっていくと思う。

は減っていくと思う。また、あいつつは、言葉を交わすのに十秒もかからないけれど、その短い時間であいつつをする方もされる方も気持ちがよくなり、お互いのつながりも感じることができ、よい取り組みだと思っている。

犯罪は、その犯罪に関わりがない人にとっては、他人事だと考えられてしまいがちである。私も、以前はそんな風に考えてしまっていたが、そうではないと思う。私の身の回りにも、きつと孤独を強く感じ、きつい思いをしている人がたくさんいると思う。犯罪のすべて

の原因が孤独にあるわけではないが、これから一人一人が孤独を解消する方法を見つけて、それを実行していくことができれば、少なくとも孤独が原因の犯罪は減っていくと考える。そうになると、これから

おとなとこどもの連携プレー!

荒尾市

健康 ミッション

3月中旬開始! 期間限定企画!

家族でいっしょに、ミッションに挑戦!

荒尾市のマスコットキャラクター「マジャッキー」をコンテンツとした専用アプリ(おとな用:スマートフォンアプリ、こども用:WEBアプリ)から参加できる期間限定の企画です。ぜひ、『おとなとこどもの連携プレー』で、家族で楽しくミッションに挑戦してください!

参加
無料

参加してね!



ストーリー

マジャク界の王子「マジャッキー」が、みんなを幸せにするために荒尾のこども達に協力をお願い! おとなとこどもで楽しくミッションに挑戦してマジャッキーの幸せづくりのお手伝いをしてあげて!

あそびかた

- 1 こどもアプリとおとなアプリをつなげる
- 2 おとなアプリで、ミッションに挑戦&クリアする
- 3 こどもアプリに、デジタルカードをゲットできる



家族で協力して
ミッションを
クリアしよう!



参加推奨年齢

こども:小学生以下
おとな:その家族

Check!

詳しくは
こちらを
チェック!

公式ホームページでイベントの
最新情報を随時更新します!

☎ スマートシティ推進室 ☎57-7622



イベント開催!

ゆめタウンシティモールで
オープニングイベントを開催!

塗り絵企画や風船をプレゼント!

期間中、リアル開催イベントを
予定! ぜひ、ご参加ください!

※アプリを利用する際のインターネット接続費はご自身での負担となります。